

国際理解教育の現状と課題に関する考察 ～小学校での授業と教員アンケートの結果から～

国際理解教育の必要性 文部科学省の3つの指針

- ①異文化や異なる文化を持つ人々を受容し、共生する態度、能力
- ②自らの国の伝統・文化に根ざした自己の確立
- ③自らの考えなどを発信し、具体的に行動できる態度、能力

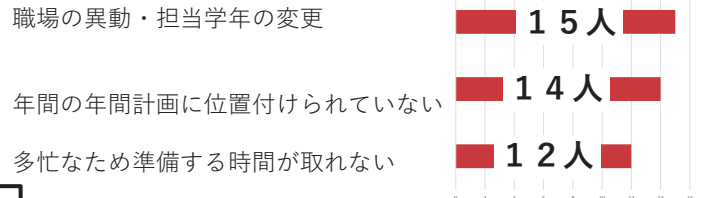
国際理解教育の実施状況

総合的な学習の時間を利用して
国際理解教育を行っている学校

年度	実施率
H27	59.4%
H25	65.8%
H23	61.4%
H21	72.7%
H19	85.4%
H15	62.6%

実施状況から・・・
・年度ごとにばらつきがある。
・実施率が下降傾向にある。

国際理解教育を実施していない主な理由
(JICA教員海外派遣経験者)



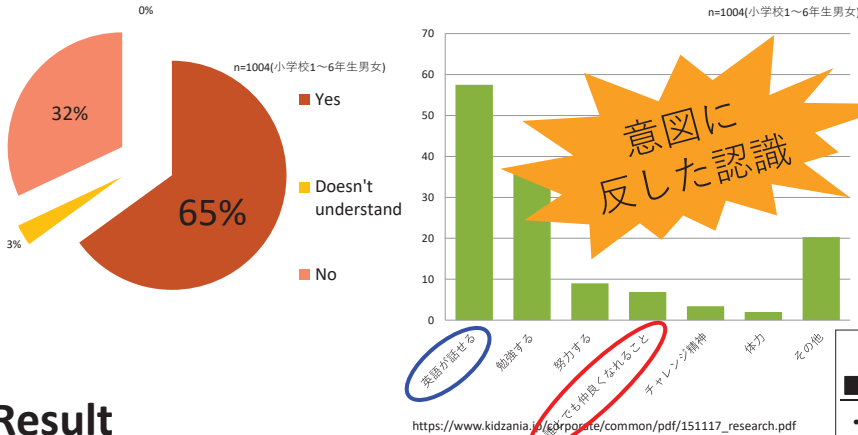
出典：JICA市民の国際協力への取り組みとJICAの役割（平成21年度）より作成

学校現場における
国際理解教育の未定着

小学生の現状

小学生の将来へのイメージ調査
(仕事観)

Q.将来色々な国の人と一緒に仕事したいか？
Q.色々な国の人と仕事をするために
何が必要だと思いますか？



意図に
反した認識

問題意識

小学校における国際理解教育の
定着率を向上させ、小学生の異
文化理解力を向上させることは
できるのか？

国際理解教育の
システムの改善

Action Plan

■出前授業の実施

- ・SDGsを題材に誰でも取り組みやすく工夫
- ・アクティブラーニングを取り入れる
- ・ディスカッションの実施
- ・現場の先生方とゴールイメージを共有

■がんばりカード（主体的行動）

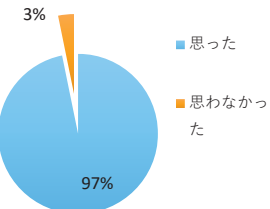
- ・児童の主体的行動を促す
- ・一時的な内容に留まらないような工夫
- ・児童の行動を可視化させる

■効果測定

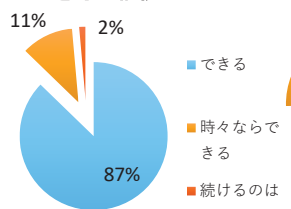
- ・授業後のアンケート
→ 授業の効果測定
- ・がんばりカード実施後のアンケート
→ 主体性に対する効果測定
- ・先生方へのアンケート
→ 授業意識に対する効果測定

Result

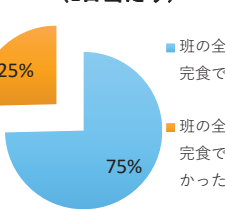
授業を通して自分の行動を変えようと思ったか



がんばりカードのチャレンジを毎日継続できるか



がんばりカードの結果（1日当たり）



Analysis & Conclusion

今回の出前授業の実施により・・・
生徒の行動の変化を促すことができた
「がんばりカード」のチャレンジより・・・
生徒の主体的な行動へ繋がった
このような授業のアイデアを蓄積し、SNSなどで公開する
→文部科学省の示す方針に対応した国際理解教育を
全国に普及させることが可能

Next Step **国際理解教育を日本で普及させるにはどうするべきか**

Introduction

保健制度が完全ではないカンボジアの子どもたちに対して、健康意識の向上を図ることを目的として、健康手帳を作成することにした。現地の子供たちに健康手帳を持ってもらい、自分の体のことを知り、興味を持ってもらうことで身体を大切にする術を身につけてもらう。また、栄養や体力測定などの情報を盛り込むことで包括的・長期的な子どもの成長の記録として活用できるようにする。この活動を、NPO法人ハートオブゴールドと協力して行い、カンボジア チェイ小学校で健康手帳の運用を実施する。

計画概要

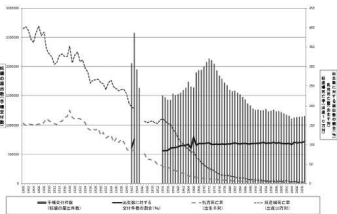
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
チェイ小学校							
Heart of gold	事業 説明	・情報収集 ・内容 ・デザイン	ドラフト作成	ドラフト修正	印刷		
学芸館高校			現地活動				現地活動
TAO海洋医学研究下院 (歯科)							歯科検診
その他の団体							

Previous research

①日本の健康手帳

母子手帳の歴史は、昭和17年(1942年)に発行された「妊産婦手帳」に始まる。世界で初めての妊産婦登録制度が発足。そして健康手帳の普及の向上とともに乳幼児の死亡率が大幅に低下していることから、手帳の貢献度は高いと推察できる(図1)。また、現在の手帳の普及率、活用率も非常に高い状況である(図2)。現在ベトナム用の健康手帳まであるほど、私たちの身の回りには多種多様な健康維持向上のための手帳が交付されている。

図1: 手帳交付件数(妊娠の届出件数) 出生数に対する交付件数の割合、乳児死亡率、妊産婦死亡率の推移



出典: 第58巻 日本公衛誌 第7号

図2: 母子健康手帳の利用状況調査

	ある	ない
内容を読んだことがあるか(質問1)	10,470 98.3(±0.24)	181 1.7(±0.24)
自分自身で記録を書き込んだことがあるか(質問2)	10,414 97.8(±0.28)	236 2.2(±0.28)
健診や体重などの記録をみたことがあるか(質問3)	10,593 99.6(±0.12)	46 0.4(±0.12)
紛失したことがあるか(質問6)	95 0.9(±0.18)	10,545 99.0(±0.19)

出典: 第48巻 日本公衛誌 第6号

②世界の健康手帳の現状

特定非営利活動法人HANDSによると、日本発の「母子手帳」は約40か国の国や地域で活用されている。



出典: HANDS(Health and Development Service)



③カンボジアの現状

NPOなどの支援で母子手帳や健康手帳などを導入しているところもあるが、部分的・簡易的であり不十分な状況である。そのため、カンボジアでは身長体重計測などをして記録をとることをしていない。また、歯磨きをする文化がなく、定期的に日本の歯科医が検診に来ている。さらに体育や保健の授業も未発達であるため、栄養や身体に関する知識を得る機会が少ない。

Our Actions

Step.1 健康手帳調査

身の回りにある健康手帳を収集し、デザインや内容について参考にした。



Step.2 Heart of goldさんとの打ち合わせ①②

手帳の内容案決定

身長・体重の記録、成長グラフ、歯の図、歯の大切さ、体力測定(50メートル走、持久走、ボール投げ、反復横跳び、上体起こし、長座体前屈)

Step.3 ドラフトの作成①



Step.4 カンボジアでの現地調査

あらかじめ作った健康手帳をチェイ小学校の校長先生に見てもらい、意見を頂いた。



Step.5 Heart of goldさんとの打ち合わせ③

校長先生から頂いた意見をまとめて再度打ち合わせし、ドラフト修正。

栄養分野ではカンボジアで栄養表示のお取り組みを進めている「FIDR」に協力要請する。



Next Step

10月に手帳の印刷を実施し、12月の渡航の際にチェイ小学校で子どもたち、先生方に運用の仕方を説明する。



国際医療保健看護ゼミ

Global Medicine, Nursing & Healthcare Seminar

担当教員：音田 高志



ゼミ概要

- ☆ (狭い意味での) “医療”にとらわれず、WHOの『健康』の定義に基づいて幅広い研究トピックに取り組む！！
- ☆ 国際 ⇒ グローバルとしてとらえ、“外国で外国人を対象に”だけでなく、“すべての人々を対象に”取り組む！！

WHOによる『健康』の定義

Health is a state of complete **physical, mental and social well-being** and not merely the absence of disease or infirmity.

『完全な肉体的、精神的及び社会的福祉の状態であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。』

1951年(昭和26年)官報掲載の日本語訳原文

国際看護の視点 ・研究対象は全ての人々！！

対象場所	日本人	外国人
日本国内	『生活習慣病』 『予防医学』 『へき地医療』 『チーム医療』	例：在留外国人・留学生 『異文化看護』 『ユニバーサルデザイン』 『医療通訳』 『医療ツーリズム』
外国	例：海外渡航者、日本人留学生 『旅行医学・渡航医学』 『トラベルクリニック』	例：途上国の人々 『国際医療支援』 『プライマリヘルスケア』 『予防医学』

ユニバーサルデザインフォントの有効性と認知度

2V 藤原 麻帆

【背景】

ユニバーサルデザイン(UD)フォントとは？

高齢者や弱者のために、**見やすく読みやすい**フォント

【UDデジタル教科書体と各書体との比較】



- ・紛らわしい画線を無くしてシンプルに
- ・線の太さを統一
- ・点対象の文字を差別化(6と9など)
- ・濁点と文字の間にスペース などなど

有効性を示す研究結果も出始めている
(例：奈良県生駒市の小学生への実験結果)

疑問：UDフォントの認知度は？
(**児童福祉関係者 & 一般の方**)

【(途中)結果】

予備調査の結果

- ・児童福祉関係者 **10名中9名が知らなかった！！**

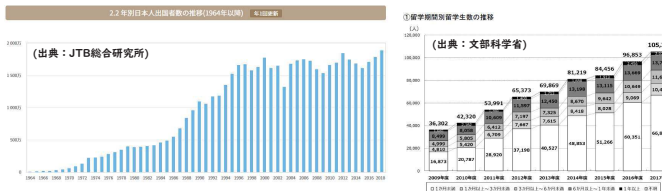
【今後の展望】

- ・認知度調査の継続
- ・認知度向上のためにできること

日本人が海外で、安全・安心な生活を送るために ～『トラベルクリニック』の有効性～

2A 常国 芽生・2C 梅本 沙弥

【背景】近年における海外旅行者・海外留学者数の増加



『渡航医学・旅行医学』のコンセプト
『トラベルクリニック』の重要性

疑問：『トラベルクリニック』の認知度は？
『トラベルクリニック』でもらえるアドバイスは有効？

【(途中)結果】

・本校海外研修参加者26名へのアンケート

- 『旅行医学・渡航医学』知っている **4名**…
- 『トラベルクリニック』知っている **3名**…

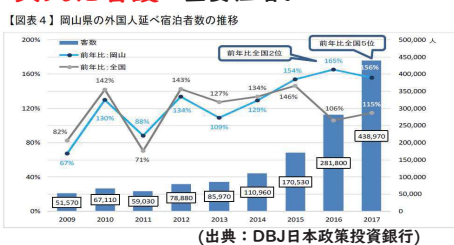
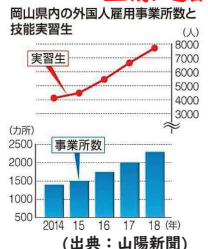
【今後の展望】

- ・『トラベルクリニック』のメリットの評価
- ・認知度向上のためにできること

英語力の向上と国際看護は本当に結びついているのか？

2V 原田 菜穂

【背景】岡山県内外国人労働者数・観光客数の増加 ⇒ 医療通訳、異文化看護の重要性増加



現状は…

- ・外国人患者受け入れ医療機関認証制度JMIP
岡山県では**2か所のみ**…(岡山大学病院、津山中央病院)
- ・ある長期留学経験を持つ看護学生のお話
『外国人受け入れ病院で働く予定ない…』

疑問：高い語学力、留学経験を看護の仕事でキチンと活かすことができるのか？

【今後の展望】

- ・看護学生に対して**国際看護に関するアンケート**調査
- ・高い語学力、留学経験を持つ看護学生の**就職状況**調査

『母子健康手帳』の活用で途上国の乳幼児死亡率、妊産婦死亡率の低下を目指せ

2V 市 朱理

【背景】新生児死亡率、妊産婦死亡率と母子手帳の活用状況 (出典：WHO2018, NPO法人HANDSのHP)

国名	新生児死亡率 /1000人	妊産婦死亡率 /10万人	母子手帳の活用状況 (2015年時点)
日本	0.9人	5人	活用
カンボジア	16.2人	161人	普及を推進中
ミャンマー	24.5人	178人	普及を推進中
世界平均	18.6人	216人	

どの程度普及しているのかは不明…

疑問：カンボジア、ミャンマーでは母子手帳がどの程度活用されているのか？

【(途中)結果】

カンボジア・シエムリアップ郊外の住人への聞き取り

- ・ほとんどの人が母子手帳を持っていた！
- ・手帳は**出産後に**受け取る(日本では**出産前**・妊娠時)
⇒ 妊娠～出産までの記録は？その影響は？

【今後の展望】

- ・ミャンマーにおける活用状況の調査
- ・母子手帳の**内容や活用法の改善**の提案

研究背景

アマモ場再生活動発祥の地として知られている岡山県備前市日生。私たちは海洋学習の一環として、アマモ場再生活動や里海創生の講演会などに参加することで、海を身近に感じ、干潟に興味を持ちはじめた。

日本の干潟はこの50年の間に4割も減少した。人工干潟の造成は各地で行われているが、生物多様性の再生について試行錯誤の段階である事を知った。

私たちは、アマモ場造成に関する先輩たちの研究を継承しつつ、人工干潟の保全研究に取り組んだ。

目的・仮説

目的：人工干潟と自然干潟の共通点と相違点を探り、人工干潟の保全方法を考える。

仮説：人工干潟において、ウミニナなどの一次消費者が天然干潟より少なかった。その原因の一つは、地表構造が平坦であり、ベントスの食料となる微生物が付着する場所が少ないからだ。

考察

牡蠣殻をシェルターとして人工干潟の潮間帯に投入することによって、ベントスの餌場や住処になり、生物多様性の向上につながる。

ベントス調査

①場所：岡山県備前市鹿久居島

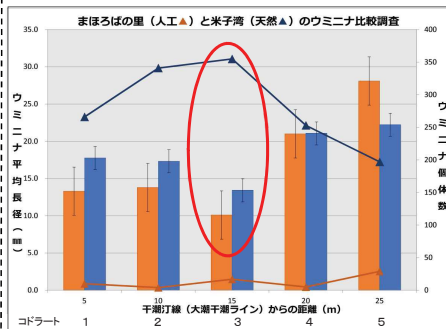
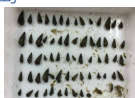
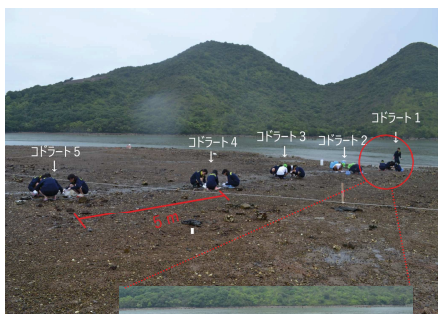
天然干潟 米子湾

人工干潟 まほろばの里

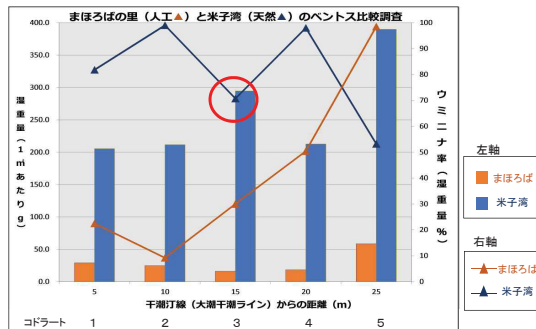
②調査方法：コドラート法

濡筋*に沿って、干潮汀線*から5m間隔で1m四方のコドラートを設置する。その中のすべてのベントスを採集する。

*濡筋：山から水が流れてきた跡
*干潮汀線：干潮した時の海岸線



- ①個体数について、米子湾はまほろばの里より多い
- ②コドラート3のウミニナ個体数が多い
また、平均長径が小さく、稚貝が多い



- ①米子湾において、コドラート3のウミニナ優占率が低く、生物多様性が高い
- ②コドラート5はカニ類が湿重量の半分を占める

地表の構造物による被覆率%	
まほろば (人工)	0.9
米子湾 (天然)	4.7

【考察】

まほろばの里は米子湾より一次消費者の量が少ない

まほろばの地表環境が単調で、餌となる藻類や微生物が付着する場所が少ない

微生物が固着しやすい物体を人工干潟の潮間帯に投入するとよいのでは？

→牡蠣殻

実験内容

屋外実験：牡蠣殻の干潟における役割

目的：牡蠣殻シェルターの微生物付着量と、ベントスの住処としての役割を調査する。

内容：ベントス調査を行ったコドラートに牡蠣殻シェルターを設置した。ニヵ月放置して、牡蠣殻への微生物の付着具合と、周りに生息するベントスの量を調べる。



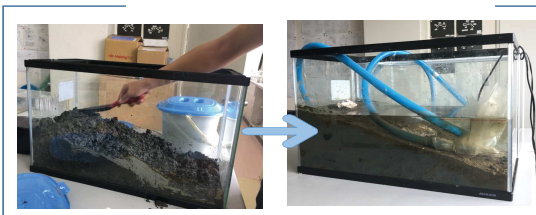
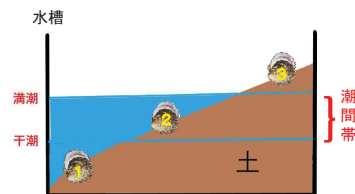
室内実験：潮汐環境下での微生物付着量の検証

目的：潮間帯の牡蠣殻で微生物が発達することを検証する。

内容：ポンプとタイマーを用い、水槽において干潟の潮汐を再現する。干潮線と満潮線を引いて、潮間帯の水位を周期的に変動させる。

実験装置

【説明図】



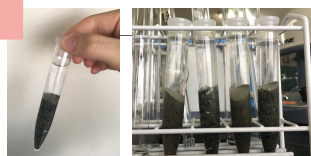
展望

実験結果 (微生物の付着具合など) の考察

他の視点からも人工干潟の保全の方法を探る

- ①人工干潟と天然干潟の土質の比較と分析
- ②ニヶ所の優占種であるウミニナの食料を分析

遠心分離した土



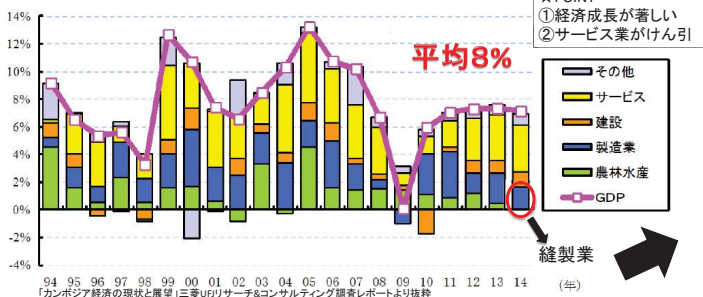
カンボジアにおける縫製業の可能性に関する考察 ～カンボジアの若者の縫製業に対する意識の現状から～

岡山学芸館高等学校2年

岡山 山田 森

1. カンボジアの縫製業の現状と課題

■カンボジアの経済構造



■カンボジアの縫製業の現状

近年の大幅な最低賃金の引き上げにより
低賃金労働の魅力が薄れてきている

他国の現状からファストファッションの現地工場は
賃金の上昇による撤退が考えられる

カンボジア経済に大打撃を与える可能性大！！

■日本国内での活動

背景にはファストファッション
→成長産業とは言えない

カンボジアの商品に
付加価値がつけられない

アパレル企業 Sui-Joh とコンタクト

■カンボジアでの縫製業の未来にむけての取り組み事例 (Sui-Joh)

Sui-Joh
Made in Kingdom of Cambodia

伝統産業に対する誇り

カンボジアのもつ
イメージの向上

カンボジアの伝統工芸品
クロマーの使用

高くても良い商品

3. 疑問点

カンボジアの若者が縫製業の
可能性について認識しているのか？

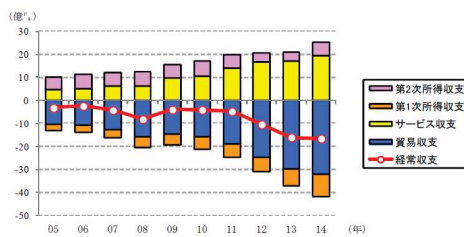
5. まとめ

- ・現地の若者の縫製業に対する意識の薄さが今のカンボジアの縫製業の現状の要因である。
- ・現地の若者が縫製業への知識が向上し“made in Cambodia”に付加価値がつけば、カンボジアの縫製業の未来が作られる！

6. ネクストアクション

- ・カンボジアの若者と協働した活動を生かしてカンボジアの縫製業を持続可能な成長産業に変える可能性を鑑みる。
- ・現地の高校生とSui-johと日本の高校生で商品開発を行う。
- ・開発した商品をSNS等で発信し、販売を行う。

カンボジアの経常の推移収支



「カンボジア経済の現状と展望」三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査レポートより抜粋

★POINT

- ①衣料は成長産業
- ②輸出依存度高い

- ・貿易額のみ増加！？
- ・成長産業として確立していない！？

衣類の世界貿易額

	輸出額(100万\$)			構成比 (%)	対総輸出額比 (%)	倍率		
	2000	2009	2014			対2000年	対2009年	
世界	197,875	315,86	467,845	100.0	89.5	2.36	1.48	
A	カンボジア	1,120	3,043	7,326	1.6	89.5	6.54	2.41
S	インドネシア	4,562	5,661	7,360	1.6	4.2	1.61	1.30
E	ミャンマー	731	404	1,315	0.3	6.1	1.80	3.25
A	タイ	3,332	2,970	2,865	0.6	1.3	0.86	0.96
N	ベトナム	1,786	8,329	19,144	4.1	13.7	10.72	2.30
	中国	32,292	100,503	173,465	37.1	7.4	5.37	1.73
	バングラデシュ	4,336	11,561	23,661	5.0	84.4	5.45	2.04

「カンボジアのアパレル縫製業と輸出産業の多様化」(国際貿易研究所)より抜粋掲載

2. 問題意識

カンボジアの成長産業の一つである
縫製業に可能性はあるのか！？

4. アンケート結果

対象: ソウダイアウ高校

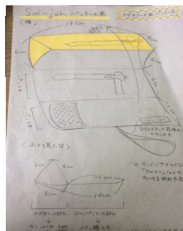
○“縫製”という言葉を知っているか。

	男子	女子	
はい	いいえ	はい	いいえ
13	5	22	6

○高校生が縫製業のためにできることがあると思うか。
(上記の質問に“はい”と回答した人のみ)

	男子	女子	
はい	いいえ	はい	いいえ
7	6	14	8

現在カンボジアにて商品サンプルを作成中！



《メガネ型ペンケース》





カンボジア・トンレサップ湖周辺の水質調査 ～人と自然の相互作用を視野に入れた一考察～

Introduction

トンレサップ湖は東南アジア最大の湖である。通常、湖の水はメコン河を通じて出ていくが、雨期になると洪水の影響でメコン河の水が逆流してトンレサップ湖に流れ込む。このようにして、トンレサップ湖は1年のサイクルでその面積を大きく変化させるという特徴を有している。この湖の豊かな自然の恩恵に支えられながら、人々は生活を送っている。しかし近年、漁獲量の低下や、近辺の開発工事などでその自然環境に陰りがさしている^[1-5]。

◎ 昨年の研究

トンレサップ湖北部の水質(pH, DO, EC)を測定したが、少なくとも測定範囲内では**際立った問題点は確認されなかった**。これは、トンレサップ湖の水が**1年間で大量の水が入れ替わる**ことで水質が保たれているためだと考えられる。

◎ 本研究

昨年に引き続き、トンレサップ湖北部の水質調査(pH, DO, EC)に加え、**シムリアップ川周辺、および市街地の調査**も行った。さらに、洪水氾濫は湖の水質の調整に役立っているが、その反面、菌の拡散など衛生状況の悪化という負の影響も与え得る。そこで大腸菌のコロニー数も調査し、**糞便汚染の観点からも水質を評価した**。

Conclusion

昨年と本年度、水質の空間的・時間的変化を見たことになるが、やはり**水生生物にとっては際立った問題はなかった**。一方で、水の利用方法や洪水、汚物処理の現状を見ると、**菌拡散の懸念が浮上し、より一層の調査が必要であること**が分かった。本研究では、自然と人間との関わり方について今一度確認し、またそれを流布していく必要性を垣間見た。今後は教育班とも連携をしながら調査を行っていく。

Method

測定量

- **水素イオン濃度pH**
水の酸性、塩基性、中性を示す。7で中性、それより小さいと酸性。
- **溶存酸素濃度DO[mg/L]**
水中に含まれる酸素量を示す。**有機物による汚染が著しいほど低い値は低くなる**。生物の生息・生育・繁殖環境の観点から見たとき、3mg/L未満の水は大変汚いと判断される。
- **電気伝導率EC[μS/cm]**
電気をどれだけ通しやすいのかを示す。水中に含まれる**電解質(汚染物)量が多いほど高い値になる**。100μSより低ければ汚染度は低いとみなしても良い。
- **大腸菌 & 大腸菌群 × 10³[CFU/mL]**
糞便汚染の指標となる。(MC-Media Pad(TM)サニ太くん(R)使用)

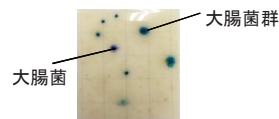


Fig1:測定装置 Fig2:大腸菌と大腸菌群の検出

Results * 測定時期は8月



参考: 大腸菌量～環境省の基準～

- ・水浴場としての利用・・・1000個 / 100 mL を超えると×
- ・水道水としての利用・・・ 陽性 / 100 mL だと×

Discussion

水質について

◎ 空間的変化

- pH: シムリアップ川上流ほど低い値
アンコール遺跡区域における川や地下水のpHが低く^[7,8]、この影響が出ていると考えられる。
⇒人為的でなく、地質的な原因が強い。
- EC: 人の多い地域ではやや高い傾向
比較的人の少ない地域では電気伝導率は低い傾向にある。しかし、これが人為的影響であると結論付けるには根拠が乏しい。調査の継続が必要である。

◎ 油断は禁物

トンレサップ湖は広大な面積に対し、**水深が非常に浅い**。このような湖は、植生や流入負荷、温度など**周囲環境の影響を受けやすい**。「水の流入と水質」や「濁度と富栄養化^[7,9]」といった**絶妙なバランスで湖の環境が保たれている**。しかし現在、メコン川上流のダム建設や森林伐採、乱獲、人口増加など、このバランスが崩壊する要素が増えてきている。人と自然との関わり方を今一度、確認する必要があるだろう。

大腸菌について

◎ 水系感染症を発生・蔓延させる危険性がある氾濫

- プノンペン中心部を除いてほとんどの家庭は**井戸や池、川などの表層水**を**水源として利用**している。
- 水上小学校のアンケート調査によると、**6割近くの子供たち**がトンレサップ湖の水を**水浴び用**に使用している。
- カンボジアにおける下痢症は2番目に高い
⇒全人口の2%、5歳児未満自の19%^[6]
- 市内の井戸水は硝酸イオン濃度が異常に高いことが知られている^[7]
⇒地表の農業肥料や住民の尿尿由来

今回の実験で濾過した井戸水から大腸菌が検出されたことから、**糞便汚染されており、他の井戸水などでも同じ傾向にある可能性が高い**。また、トンレサップ湖の大腸菌群は、雨期で薄まっているが、それでも日本の環境省基準では**水浴場として利用できない量**である。

今後の展望

◎ 水質調査の継続

- ・飲料水などの水質調査の追加
- ・濾過装置の作成と、濾過前後での菌量変化

◎ 教育班との連携

- ・簡易水質調査キットの作成
- ・環境教育教材の作成

[1] 笹井利之, 立命館国際地域研究, 21 (2003) pp.41-64
 [2] Mekong River Commission, Fisheries in the Lower Mekong Basin, (2002)
 [3] E. Baran, Eric, et al. Analysis of the Cambodian Bagnet "Dai" fishery data. ICLARM, Penang, Malaysia, Mekong River Commission Secretariat and Department of fisheries, Phnom Penh, Cambodia, (2001)
 [4] 後藤歩 (2005) 『水の声: カンボジア・トンレサップ湖の変容と脅かされるひとと地の暮らし』, メコン・ウォッチ
 [5] Peng Bun Ngor, scientific Reports 8 (2018) 8947
 [6] Country Health Information Profile (2004), WHO HP. (http://www.wpro.who.int/chips/default.asp)
 [7] 松井三朗, et al. 環境技術 21.12 (1992) pp.776-787
 [8] Tsukawaki Shinji, et al. Journal of Geography, 103.6 (1994) pp.623-636
 [9] Tsukawaki Shinji, et al. EMSB 『トンレサップ湖の自然』